どんぐりの森通信　第23号　2013年4月

『平岡どんぐりの森』は、地域の自然に親しむ活動をしているグループです。 平岡公園や東部緑地をフィールドに、自然観察会や地域の生きもの調査・保護活動を通じて、身近な自然環境を見守る目を増やしていきたいと願っています。

昨年は北海道らしからぬ『暑くて長い夏』に閉口しましたが、短い秋を挟んで、これまた異例の大雪と厳寒の冬に突入しました。連日の降雪で道路の両側は雪の壁となり、この大量の雪が春の訪れと共にすべて溶けて消え去るとは、信じられなくなりそうです。春を待ち切れずに、早くも3月上旬に南から渡ってきたアオサギ達は、暴風雪に出迎えられて驚いたことでしょう。今年ほど春の訪れが待ち遠しい年はなかったですね。

『どんぐりの森通信第23号』では、2012年度後半の活動報告と新年度の活動予定をお知らせします。

❖❖ 2012 年 10 月～2013 年 3 月の活動報告 ❖❖

ながぐつの土曜日

小学生とお父さん・お母さんを主な対象にした自然観察会です。平岡公園管理事務所との共催で、毎月第3土曜日に開催しています。草花や樹木、鳥や虫などの生きものを観察しながら、自然豊かな平岡公園内を探検してみましょう。虫や魚に詳しい酪農学園大学の学生さん達も毎回参加しますから、何でも聞いて下さい！

10 月 20 日（土）　もみじの森たんけんたい

今年の紅葉は遅くて、赤くなっているのは入口のナナカマドとツタぐらいですが、森に入るとあちこちにキノコが顔を出していました。猛毒のテングタケもありますよ。皆の目を引いたのは*キツネノチャブクロ*（ほこりたけ），丸い頭の中央に小さな穴があって、ちょっと触るとホコリのような胞子が穴から煙のように出てきます。不思議な形ですね。*タヌキノチャブクロ*もあるよ、との探検隊長・ゆうさんの話に、子供たちは好奇心いっぱい。

2月16日（土）　雪の森たんけんたい

冬のながぐつの土曜日はスノーシューで歩きます。腰まで埋まってしまいそうな深い雪でも大丈夫、積雪期にしか入れない森の奥まで探検できますよ。

時々、*シジュウカラ*や*ハシブトガラ*の声がするだけで、冬の森は静かです。針葉樹の下に、小さな足跡がたくさんついていました。*エゾリス*です。姿は見せてくれませんでしたが、どうやら茂みの中に巣があるようです。*シマリス*は冬眠するけれどエゾリスは厳寒期でも活動しているので、ふさふさの尻尾を振り立てて木の幹を駆け上がる姿を見かけることがよくあります。この次は会えると良いですね。

ツリー・ウオッチング

樹木を中心にした観察会です。四季を通じた定点観察で自然の移り変わりを楽しみながら、樹木の 1 年を見つめます。厳冬期にはスノーシューで雪の森にも入ります。昨年は東部緑地を歩きましたが、新年度から平岡公園に戻って、5月～11月の第3水曜日午前10時に第一駐車場集合、どなたでも参加できます。あなたの『お気に入りの木』を見つけて下さい。

10 月 17 日（水）　東部緑地・秋の実りとキノコの森

いつも真っ先に赤くなる*ツタウルシ*も、今年は色づき始めたばかりです。紅葉の遅れた森ですが、キノコが勢ぞろいして出迎えてくれました。緑地入口に並んだ*テングタケ*に始まって、*ホオキタケ*、*サクラシメジ*、*ハツタケ*、*アミガサタケ*、まだまだあります。湿地のヤナギ類には*ヌメリヤナギモドキ*がいっぱい！『お味噌汁に入れると旨いよね』とつぶやく声が･･･

*ツルアリドオシ*の赤い実が枯葉の下に見え隠れしていました。

11 月 21 日（水）　東部緑地・秋の森と野鳥

今年の実りはどうでしょう？山ではどんぐりが不作で、クマが市街地にまで出没しているようですが、平岡の*コナラ・ミズナラ*の実りは平年並みです。*サワシバ*はぎっしりと実を付けていますが、*キタコブシ*と*ホオノキ*はちょっと寂しい感じでした。

すっかり葉を落とした明るい森では野鳥の姿が良く見えます。おなじみの*シジュウカラ*、*ハシブトガラ*、きれいな色の*ヤマガラ*、木の幹を逆さに降りる*ゴジュウカラ*、鋭い声で鳴く*アカゲラ*や*コゲラ*にも会えました。半年前に巣立った*クマゲラ*が餌を求めてこの森にも来るのでは？と期待しましたが、姿は見られず、新しい採餌痕も見つかりませんでした。

2 月 20 日（水）平岡公園・スノーシューで冬の森散歩

大雪が続いていますが、今日は久しぶりの晴れ間。初参加の方 3 名を迎えて、園内を歩きました。*プラタナス*の並木は、『鈴懸け』の別名どおり可愛い丸い実がスズなり。葉の形と木肌の模様も面白い樹木です。公園造成時に植えられたもので、原産地は北米とか。園内には他にも、大きな松ぼっくりの成るトウヒやマツの仲間、*メタセコイヤ*（中国原産、生きた化石と呼ばれる、太古の時代から生き延びてきた木）など珍しい外国の樹木も植えられています。散策路を離れて雪の斜面を登っていくと、林の奥には*アカゲラ*の巣穴が幾つも開いている木や、*クマゲラ*の大きな食痕が残る木もありました。*ツルアジサイ*や*イワガラミ*のドライフラワー、*カラマツ*の実など雪の上の落とし物を拾いながら歩きました。

冬の　平岡公園にぎわいフェスタ

1月12日（土）　参加者　70名

寒い冬の１日、大勢の親子連れや子供たちが集まり、平岡公園で雪遊びを楽しみました。酪農学園大学の学生さんの協力で広場に作った雪山すべり台では、イベント開始前から子供たちの歓声が上がっていました。雪山のお尻すべりはスピードが出て面白い。何度も何度も、登っては滑り下りて楽しみました。アイスキャンドル作りでは、雪の壁に色々な形の穴を掘ってローソクを置き、暗くなってから灯をともします。

。